

## 蒲池の歴史

### 昔の堀の風情

#### ●蒲池って・・・



もともとは、「鹿待」（しかまち）って書いてあったんだよ。（平安時代の百科事典といわれる『和名抄（わみょうしょう）』）それが、「蒲池」（かまち）になるのは、鎌倉時代の資料です。この中に、三瀧荘の村としてみえます。玉垂宮（大善寺）の祭に田楽と流鏝馬（やぶさめ）を奉納し、相撲の力士を出場させた、と書かれています。

蒲池とは、蒲（がま）のいっぱい生えた池のあるところという意味でしょうか。今では、「がま」をみることは少ないですが、昔のままの堀の姿を見ることはできます。

#### ●貝塚・・・

三嶋神社の境内に貝塚があります。蒲池には、弥生時代の土器や竪穴住居跡などが見つかっています。学校には、西蒲池で発見された弥生式土器や土器片があります。

### 蒲池城の頃、筑後地方の中心

## ●蒲池城・・・

南北朝時代（1370年ごろ）、「蒲池城」の記録をみることができます。西蒲池には、蒲池城跡の碑が建っています。

## ●蒲池物語・・・

蒲池に住んだ「蒲池一族」の歴史をあらわした本です。江戸時代に書かれました。



## い草全盛期

(江戸時代～昭和時代)

### 【参考文献】

柳川市史編集委員会編『新 柳川明証図会』

河村哲夫『筑後争乱記～蒲池一族の興亡』